

## 第6学年 社会科学習指導案

第6学年 富雄第三小学校  
河野 晋也

### 1. 単元名

『わたしたちの願いをかなえる政治 ―京奈和自動車道はだれのため?―』

### 2. 単元の目標

- ・ 生活に必要な道路の役割やそれを支える政治のしくみについて関心を持ち、意欲的に調べようとしている。  
(社会事象への関心・意欲・態度)
- ・ どのような政治の仕組みや国民の願いによって道路が整備され、人々の暮らしを支え、また向上させているのかを資料をもとにして考え、道路の持つ様々な役割を考えることができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- ・ 政治の仕組みについての資料を読み取り、国民の願いを実現するための公共事業が計画され実施されるまでの過程を調べている。  
(観察・資料活用の技能)
- ・ 道路の持つ役割と、人々の生活を支える国や地方公共団体の政治の仕組みを理解している。  
(社会的事象についての知識・理解)

### 3. 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 観察・技能	エ 知識・理解
①生活に必要な道路の役割や道路整備事業をする政治のしくみについて関心を持ち、意欲的に調べようとしている。	①どのような政治の仕組みや国民の願いによって道路が整備されているのかを資料を基に考えている。 ②道路がどのように人々の生活を支え、生活を安定向上させているのかを調べたことを基に考えている。	①国民の願いを実現するための政治の仕組みについて、資料を読み取り調べている。 ②国民の願いを実現するための公共事業が計画され実施されるまでの過程を調べている。	①道路の持つ役割と、人々の生活を支える国や地方公共団体の政治の仕組みを理解している。

### 4 指導について

#### 1. 教材について

本単元は、学習指導要領第6学年の(2)「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」の「ア国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」を受けて計画した。

前単元までの学習において、戦後復興の過程で国民の生活が向上し、自動車保有率の増加に伴って高速道路や学校の近くを通る阪奈道路が整備されたことを学習した。同時に産業発展に伴う大気汚染などの環境問題にもふれている。

本単元では、前単元の学習を生かし、こうした道路がだれによって整備されていくのかを学習していく。阪奈道路や第二阪奈道路は大阪と奈良とを結ぶ道路であり、都市部への移動を容易にすることを可能としている。しかし現在建設中の京奈和自動車道路は、決して大阪と地方都市を結ぶ道路ではない。しかし、観光産業・運輸業の促進など様々な役割を担う道路である。また和歌山県側から見れば、心配される南海地震発生時の救援輸送道路、避難道路としての役割も期待される「命の道」でもある。こうした事実を知っていく過程で道路が我々国民にとって重要な意味をもち、政治の働きを理解するうえでも効果的な教材であるといえよう。

## 2. 指導について

まず前単元の振り返りを行い、戦後復興の過程で道大きな道路が全国で整備されていったこと、校区近辺では、都市部と地域を結ぶ道路が作られ、産業発展の一役を担っていったことを確認する。その上で、現在建設中の京奈和自動車道路が、多額の税金を使って整備されていることを伝え、だれがこの道路をつくろうとしているのか、調べる視点を持たせたい。

工事を実施するまでの議会や市役所の動きについて調べ、多額の税金が必要であることや、限られた貴重な税金を適切に使うための市議会・県議会の働きを理解させる。税金については税務署のパンフレットなどを使って、集める仕組みや使い方を確認させ、国の援助による整備の状況にも気づかせたい。

貴重な税金が多額必要であることを理解した児童に、なぜ阪奈道路のように都市部と地方を結ぶ道路ではないのにこれだけ多額の税金を使うのか、という点について考えさせたい。つまりはこの道路に込められた国民の願いに気付かせていくということである。この道路に求められている役割としては、観光産業・運輸業の促進だけでなく、過疎地域の交通の便の改善と地方の活性化、大阪近辺の交通渋滞の緩和、災害発生時の避難道路、救援道路などが考えられている。道路の整備効果については、奈良近辺の事例を挙げるだけでなく、火山による火砕流などから身を守るために整備された道路（長崎・雲仙普賢岳周辺等）を事例として取り上げ、我々の生活を持続可能なものにするための道路整備について捉えさせたい。

## 5. ESDの構成概念について

（実体概念）

多様性… 道路の整備効果には様々な面があり、地域によって道路整備のニーズは違う。政治は住民の願いをもとにして動くことを児童に考えさせることで、多様な人々の願いとそれにこたえるために動く行政の仕組みに気づかせることができる。

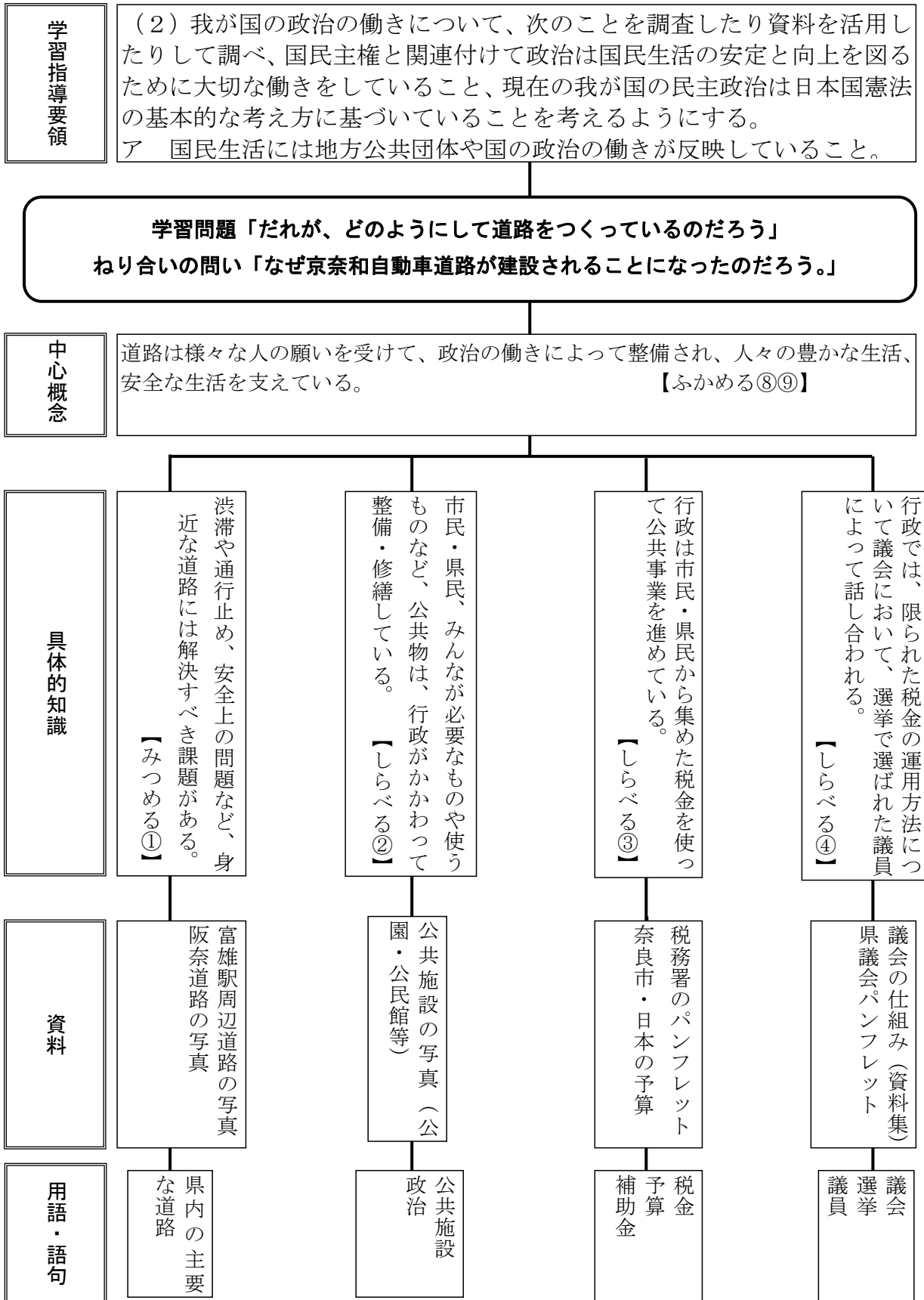
（規範概念）

公平性… 道路を整備すれば広い範囲に短時間で人やモノを届けるという整備効果が得られる。それはサービスや情報、商品を広い範囲の人々に提供できるということである。例えば奈良県南部の過疎地域における物流の促進や地域活性化によるまちづくりを事例として考える場面がそれにあたる。道路の整備効果を考えるということは、自分の身近な地域だけでなく、より広い視野で社会を見、課題を考えることになり、持続可能性を追究することにつながるといえる。

連携性… 政治は多くの市民の合意の上に成り立つものである。個々人の願いをかなえるものではなく、みんなが住みやすい社会の形成を目指して働くものである。このことを考えると、より良い政治とはより多くの人暮らしやすい街を、様々な主体で考え、協力して作ることに言え、持続可能な社会の在り方を協働的につくりあげる社会の仕組みを学ぶことにつながる。特に多くの人にかかわる道路づくりにおいては、様々な主体や住民のニーズを考え、協力が得られることが不可欠である。本単元においては、「なぜ京奈和自動車道がつくられることになったのか」というテーマについて様々な人の願いをとらえ、またその道路を作るために多くの主体が合意形成し、協力していることを学ぶ。

責任性… 政治は地域の願いによって動き始めるものであり、今回取り上げた道路整備についても、その事業によってどのような効果が得られるのかを十分に検討することを学ぶ。道路は災害時に人の命を守ることにともなうし、安全に交通するための整備も必要不可欠である。事故が起きにくい道路、使いやすい道路、破損しにくい道路づくりを目指して道路事業は進められる。より良い街の在り方を目指し、そのために行政が責任をもって税金の運用することを学ぶ。具体的には「命の道」としての京奈和自動車道の整備や、登下校時に使う道路の安全対策などがそれにあたる。

## 6. 知識の構造図





	<p>○ 身近な道路はどのように作られるのだろう。⑤⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県道路建設課の方のお話を聞き、道作りにどのような政治の働きが働くのかを調べる。</li> <li>・聞かせていただいた話をもとにして、道路がどのように作られるのか、をまとめる。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">熊本・阿蘇山周辺道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の役割や整備効果、道路ができるまでの流れについて話を聞く。</li> <li>・火山の火砕流から逃れるための道路「命の道」や火山による被害を受けた道路の事例などを紹介する。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">長崎・普賢岳のふもとに作られた「火砕流の道」とその両側(堤防上)に作られた避難道路</p>	<p>ウ② エ①</p>
<p>ふかめる②</p>	<p style="text-align: center;"><b>なぜ京奈和自動車道路が建設されることになったのだろう⑥</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京奈和自動車道路に求められる役割を調べる。</li> <li>・道路があることで人々の暮らしがどのように安定し、支えられているのか調べたことをもとにして話し合う。</li> </ul> <p>○ ならこくの方の話を聞いて話し合ったことを確かめよう⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合った様々な立場の人の思いが確かなものなのか、話を聞いて確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪奈道路や第二阪奈道路のように都市と地方をつなぐという役割がないことに気づかせ、問題をつかませる。</li> <li>・だれが、どのような思いで京奈和自動車道を作ろうとしているのか、話し合わせる。</li> <li>・観光促進、産業活性化だけでなく、過疎地域の活性化や和歌山県民にとっての「命の道」など様々な役割があることに気づかせる。</li> </ul> <p>○ 京奈和自動車道も、阪奈道路や校区の道路と同じように人の思いを受けて作られているものであることを確かめさせる。</p>	<p>イ①  イ① エ①</p>
<p>ひろげる②</p>	<p>○ エコロードにはどんな人々の願いが込められているのだろう⑧⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロードの実施例を知り、道路建設が野生生物の生活空間を分断する恐れがあることや、人間の生活だけでなく野生生物の暮らしにも配慮した道路が作られていることを理解する。</li> <li>・多くの道路が建設後数十年経過し老朽化していることを知り、これからの道路の在り方を考える。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">(NEXCO 総研 HP 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林に道路が建設されることでどのような影響があるのかを考える。</li> <li>・ヒートアイランド現象や野生生物のすみかの確保など今後の道路建設には、人の生活だけでなく生態系に配慮した道路建設が求められていることに気付かせる。</li> </ul>	<p>イ②</p>

6年社会 富雄第三 「わたしたちの願いを実現する政治—身近な道路と京奈和自動車道」

身の回りの道路はどのようにつくられているのだろう—富雄駅周辺の渋滞はなんとかならんのか？—

- 特に朝優雅混むってことは、通勤の車が多いのかな。
- 少し前まではもっと道路が狭くて、よく渋滞していたそう。
- 忙しい時に渋滞すると困るね。だれが道路を増やそうとしたのかな。
- 今でも富雄南のところは工事をしているよ。
- たくさんお金もかかるんだろうな。どうやって道路工事は始まるんだろう。

だれが、どのようにして道路をつくっているのだろう

- たしか、阪奈道路は人口増加に対応したから…だったね。
- 第二阪奈は長いトンネルになっていたよ。大変だろうな。
- たった 13 km に 2,336 億円！ 11 年もかかるんだ！
- 道路が細すぎたり、壊れたりしている…！

だれが道路を整備するのだろう

- 道路が壊れて困るのは「みんな」だよな。
- 「みんなのもの」に関わるから政治と関係があるんだね。
- みんなが使う道路だから、税金を使って作るんだね。

税金はどのように使われるのだろう

- 消費税は私たちが払っているね。
- 一年で小学生一人のために 86 万円使うんだ！
- 市町村だけでどうしようもない時は補助を受けるんだね。

税金の使い道はどうやって決められるのだろう

- 大事な税金だから、間違いがあってはいけないね。
- だから何度も話し合ったり、議員さんも選挙で選ばれるんだ。
- 議会や役所などで予算案や計画案を話し合っているんだね。
- 国の国会や内閣も同じ仕組みなんだね。
- 道路をつくる法律もあるんだって。

道路はどうやって作られるのだろう

- 道路を作ることによっていろいろな人が生活しやすくなったり、助かるんだね。
- 安全で効果のある道路を作るためにたくさん話したり調査するんだね。
- 国も命を守り、街づくりを進める道路づくりを応援するんだね。
- 限られた予算でしっかりと道路をつくるためにたくさん話し合うんだね。

京奈和自動車道はなぜつくられるのだろう

- 三県にまたがっているね。奈良県の仕事じゃないのかな。
- 阪奈道路と同じで人口増加が原因かなあ。
- でも和歌山に仕事に行く人は少ないと思うよ。
- 奈良の南部は人が少ないのに大きな道路が必要かなあ。

ならこくの人に聞いてみよう

- 和歌山から見ると「命の道」でもあるんだ。
- 道ができるということは産業も観光も…
- いろいろな人の願いに応えようとした道路なんだね。

エコロードってなんだ？

- わざわざ道路の横に生き物の通り道を作ってるよ。
- そういえば、奈良公園では鹿も車道を歩いているなあ
- 戦後復興の時に作った道路も、もうすぐづくりかえなきゃならないね
- 暑くならない道路なども研究されてるんだって！
- これからの政治は人々のくらしだけではなく、生き物のくらしも考えないといけないね。